公開請求の内容及び処理状況

請求日	決定日	公文書の件名	決定内容	非公開事由 (7条該当号)	担当局	担当
令和5年9月2日	令和5年10月25日	<p>市民局の意見書（令和5年8月8日付大市民第320号）には次の記載があります。</p> <p>調査結果の正確性等は、アンケート実施の資料を起案する市民局において、インターネット上に公表されている資料や解説等をもとに知見を得たもの</p> <p>ここで言う「インターネット上に公表されている資料や解説」が何で、これらの何を「2000配れば400回収しようが600回収しようが、その信頼性は同じ」、「正確性は担保されている」などどの説明の根拠としているかがわかる文書を公開してください。</p> <p>また、住民監査請求について（通知）（令和3年11月12日付大監第97号）において、実施機関は監査に対して次の説明を行っています。</p> <p>無作為抽出をすれば元々考えていた、区同士比較をする、経年で見るということでベースとしては問題がないと判断しすすめてきた。</p> <p>この説明の根拠が示されている文書を公開してください。</p>	不存在	号	市民局	区行政制度担当

<p>令和5年9月30日</p>	<p>令和5年10月13日</p>	<p>旭区役所の令和5年9月28日付市民の声の回答には次の一文があります。</p> <p>「区同士や経年の比較」については、統計学的思考ではなく、同じ手法で実施した区民アンケート調査結果を見比べています。</p> <p>具体的には、区民アンケート報告書の大阪市全体ページにおいては、区別回答者数と回答率、肯定的な意見の割合など、区別に表やグラフ等でまとめており、また他区の報告書と見比べることもできると考えています。</p> <p>1. 「他区の報告書と見比べることもできると考えています」について、このように考える根拠が記載された文書を公開してください。</p> <p>この市民の声の基となった区民アンケートについて、令和2年度の報告書の6ページに、『肯定的な意見の割合』が記載されています。これの『問1 区役所が区民の意見やニーズを把握しているか』の旭区は42.2%であり、平野区は36.9%となっています。</p> <p>2. この差5.3%がいかなる根拠をもって、どのような意味を持つものであるのかわかる文書を公開してください。</p> <p>また、「相談や要望に区役所は適切に対応したか」の西区の値は平成29年度から順に、77.8%、73.0%、84.4%、73.0%、91.5%と10%以上、回次によっては20%近くも乱高下しています。</p> <p>3. このようなデータで「経年の比較」ができるとする根拠が示された文書を公開してください。このような乱高下が何を意味するものであると考えているのかわかる文書です。</p>	<p>不存在</p>	<p>号</p>	<p>市民局</p>	<p>区行政制度担当</p>
------------------	-------------------	---	------------	----------	------------	----------------